



ドライバーのための 防災手帳

～いざという時に備えよう～



NHK 北九州放送局



もし、地震や台風、

地震発生時

運転中

に、

防災・復興

明日を>>>
まもるナビ

2021年11月14日放送
「外出先で地震! その時あなたは?」より



詳しくは
こちら!

《運転中》危険が迫ったら車は置いて避難する!

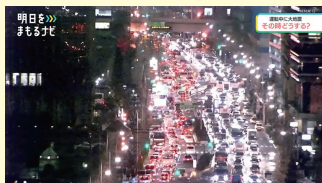
2011年の東日本大震災では、都心の道路はパニック状態に。
もし、首都直下型地震で同じことになれば、緊急車両が通れなくなり、
本来助かる命も助けられなくなります。

運転中に地震が来たときの行動のポイント



明日を>>>
まもるナビ

- **ハザードランプを点灯し減速**
- **道路の左側に停車し車内で待機**
- **カーラジオなどで情報を集めて判断して行動**
- **避難の際はキーをつけたままドアはロックしないで**おく



東日本大震災で都心の道路は大渋滞

車を置いて避難するかは、
災害情報と周囲の状況から
判断しましょう。

津波が発生したら。

地震を感じたら。



防災・復興
明日を>>>
まもるナビ

2021年11月21日放送
「災害時 車をどう使うべきか」より



詳しくは
こちら！

東日本大震災では **6割**の避難者が **自動車使用**
熊本地震では **7割**の避難者が **車中泊**

知っておきたいルール 「原則は徒歩」

災害時の自動車使用は、2つのケースがあります。一つは自動車を使って避難する「自動車避難」です。もう一つは自動車を避難場所にする「車中泊避難」です。

災害時の自動車の使用について

(内閣府回答)

自動車避難

津波 地震時 原則徒歩

風水害時

移動中に洪水等に見舞われることや
渋滞による避難の遅れが発生する
おそれがあることに留意

車中泊避難

やむを得ない場合に限り

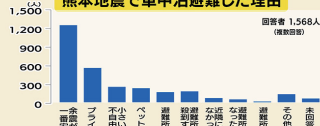


熊本地震で、実際のどのくらいの人が車中泊避難をしたのか。アンケートに答えた人のうち、自宅以外に避難した被災者の7割が車中泊を選びました。

車を避難生活の場とするメリットは次の通りです。

1. 雨風がしのげる
2. プライバシーを保てる
3. 鍵がかけられるので防犯上も安心
4. エアコンで快適に過ごせる
5. ラジオから災害情報を得られる
6. シガーソケットやコンセントから電氣を得られる、充電ができる

熊本地震で車中泊避難した理由



台風・大雨発生時



身近に迫る 水害の危機 命を守る避難方法

防災・復興

明日をマシマにする

2021年4月11日、5月30日放送

「水害からの避難」「水害からの避難の極意」より



詳しくはこちら!

3つの「避難スイッチ」で命を守る —最新版「避難情報」の見方—

2019年の西日本豪雨の被災者に「避難に関して困ったこと」を聞いた結果、最も多かった回答は「避難をいつ行ったらいいか判断できなかった」でした。そこで、京都大学防災研究所教授の矢守克也さんが提唱するのが、避難を実際の行動に移すきっかけになる「避難スイッチ」です。



2021年自治体が発表する避難情報が変更になりました。

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難の情報
5	命を守って!	緊急安全確保
↓ここまでには必ず避難↓		
4	危険場所から避難	避難指示
3	高齢者など避難	高齢者等避難
2	避難方法確認	—
1	最新情報に注意	—

●周囲の状況を確認し、避難場所までの移動が危険な場合には、近くの頑丈な建物に移動する。

車での避難は要注意

車で避難するときの3つの心構え

(東京大学大学院特任教授の片田敬孝さんの勧め)

車での避難の心構え

- 1 避難先を決めておく
- 2 避難ルートもチェック
- 3 早めに出発する

- ① ふだんから避難先をいくつか決めておく。
水につからない安全な場所であることを確認しておく。
- ② ハザードマップを見て、道が水につかる危険な状況ならそのルート避ける。抜け道も複数決めておくこと。
浸水の情報はカーナビには出てこない。
- ③ なによりもいちばん大事なのは、早めに出発すること!

街の中に潜む危険

ー 浸水に注意しましょうー



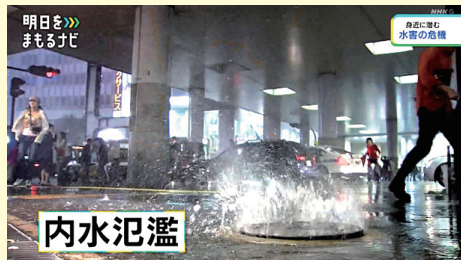
アンダーパスの冠水

今いる場所で雨が降っていなくても、車などの運転で注意が必要なのが鉄道などの下を通るアンダーパス。短時間の大雨で冠水しやすく。気がつかずに突っ込んでしまうと身動きがとれなくなります。



内水氾濫

短時間に大雨が降ると下水道などの排水機能が追いつかなくなり、川に流れなくなります。行き場をなくした水が地上にあふれ出す現象。



たんすいがた 湛水型内水氾濫

広域にわたって雨が降ったことで、本流の川の水位が上昇し、支流の川や下流からの水が流れ込めずにあふれる現象。



津波発生時



防災・復興
明日を>>>
まもるナビ

2021年5月23日放送
「津波からの避難」より



詳しくは
こちら!

危険な「自動車避難」と「ピックアップ行動」

「津波襲来」人はどう動いたのか ～東日本大震災より～

地震発生直後は多くの人が避難しましたが、データ（右側の画像参照）からは沿岸に向かう人が乗った自動車の多くが、Vの字を描くように戻っていくこともわかりました。

「ピックアップ行動」と呼ばれる動きで、家族や知り合いを助けに行き、多くの人が犠牲になりました



地震発生からの巨大津波までの自動車の動きを示したデータ

#NHK防災これだけは

ハザードマップ これだけは



詳しくは
こちら!

#NHK防災これだけは

1 ハザードマップを探す

災害から命を守るはじめての一步
ハザードマップ
入手方法は大きく2種類



「ハザードマップ 自治体名」を検索
お住まいの自治体サイトで
ハザードマップが公開されています



「重ねるハザードマップ」をチェック
国土交通省のサイトで
住所から浸水リスクを検索できます
未掲載の川もあるので注意



災害時にアクセスが集中すると閲覧できなくなる可能性も事前に印刷して紙でも持っておこう

#NHK防災これだけは

2 自宅が何色の場所にあるか確認

浸水の深さによって避難の方法が変わります



2層浸水レベル(0.5-1m)
2階建ての住宅でも家に入ると動かない

1層浸水レベル(0.5-1.3m)
平層の場合は家に入ると動かない

浸水浸水レベル(1-0.5m)
階下が浸水時は外出せず家にとどまる方が安全



家屋倒壊等氾濫想定区域
家ごと流される危険あり、絶対に自宅にとどまらずに速に避難してください
※国土交通省の発表(2020年)ではこの区域内で少なくとも8万人が犠牲にされています



家が浸水する前に必ず避難を!
浸水が始まると家の中の移動も困難です

#NHK防災これだけは

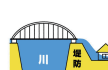
3 避難ルートをチェック

避難場所だけでなく、避難経路も確認



避難場所までのルートに浸水や土砂災害のリスクがないか確認
危険な場所は避けて

「色が塗られていないから安心」は間違い



ハザードマップの整備が間に合わず色が付いていない場所でも犠牲者は出ています

堤防や橋より低い場所は浸水の危険があると考えて



避難中に被害にあうケースが相次いでいます
浸水が始まる前に避難して!

災害に備えて準備をしておきましょう。

01 家族や友人の 連絡先 をメモしておこう！

NAME _____
NAME _____
NAME _____
NAME _____

TEL _____
TEL _____
TEL _____
TEL _____

02 備蓄 を確認しておこう！

日頃からの備え

大切なのは「水」と「食糧」
1週間分用意しておくで安心です。

- 水（1人1日3リットルを目安）
- レトルト食品／缶詰／即席めんなど
- 野菜ジュース／お菓子／栄養補助食品など
- 携帯トイレ

ローリング ストック



多めに買い置き

買い足す



消費する



ふだんから飲み物や食糧、日用品を多めに買い置きして、賞味期限が近づいたものから使い、その分を買い足す「ローリングストック」がおすすめです。

緊急時の持ち出し

防災バッグは重くなりすぎないように
「自分に必要なもの」を選びましょう！

- 身分証明書
- 現金
- 懐中電灯
- 動きやすい靴
- 救急セット
- ラジオ
- 携帯バッテリー・充電器
- ヘルメット

置き場所は、「玄関」や「車」など
持ち出しやすい場所を中心に考えましょう。

感染対策グッズも！

- マスク
- 体温計
- アルコール消毒液



NHK コンテンツ集

知らなかった防災の知識がここに
みんなで考える防災

公式 Twitter

@nhk_ikiruskill

いつでも どこでも、NHKの番組を。

NHK+

総合・Eテレの番組を

- ☆ 放送から1週間 ※1
- ☆ パソコン・スマホやテレビ（一部）で ※2
- ☆ いつでも どこでも、何度でも、まじめるサービスです。



※1 一部の番組の一部は2週間配信
しています
※2 テレビでは見逃し番組配信のみ
お楽しみいただけます
動作確認機種はNHKのホーム
ページでご確認ください

NHK ラジオ
らじる★らじる



防災・復興
明日を>>>
まもるナビ

総合テレビ
日曜
午前10時5分
から放送



NHK
ニュース
防災

あなたと大切な人を守る



命を守る情報を手元へ
アプリのダウンロードは
こちら！

NHKニュース・防災アプリ

身のまわりの
災害リスク確認！

Point
1

ハザードマップを 搭載

洪水の浸水想定、
土砂災害の警戒地域が
確認できます。



河川状況を
チェック！

Point
2

河川情報・ 河川カメラ

リアルタイムな河川の
状況をマップとカメラで
チェックできます。



災害情報を直接
お届け！

Point
3

3つの 地域登録

登録した地域の
警報や災害情報をお
届けします。



NHKの災害報道を支える取り組み

【災害訓練】



NHKでは首都直下地震などに備えて、定期的に災害時を想定した訓練を行っています。

【L字画面】



NHKでは緊急時、災害・交通情報やライブインデータなどをできる限り速やかに放送しています。

【ヘリコプターとヘリカメラシステム】



全国12か所の空港などで15機の取材ヘリコプターを運用しています。災害発生時にはすぐに飛び立つ体制を取っています。

防災・減災報道も
みなさまと受信料で支えられています。

受信料の窓口

受信料のご案内、受信契約のお申し込みや
転居時のお手続き、お支払い方法の変更、
家族割引のお申し込みなど、各種お手続き
はこちらから

<https://www.nhk-cs.jp/jushinryo/>

新規契約

衛星契約変更

住所変更

お手続きは
こちらから▼

